学校番号	2001

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	書Ⅲ　（教図）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「漢字かな交り作品」創作と「漢字一字」創作を中心とした二本柱で進めていきます。

壁面に展示する作品を制作して達成感を味わうとともに生活の中で書を楽しむ心情を育てます・

2　学習の到達目標

芸術としての書の表現と鑑賞の基礎的な能力を育て、日本独自の書の文化について理解を深める。

生涯にわたり書を楽しむことができるようにする。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書に関心を持ち、作品を創る意欲に満ちているか、制作に真面目に向きあっているかを見る。	長期間にわたる作品制作のファイルによって、制作途中の発想、技術、完成度をみる。	力が筆毛を通じて紙にしっかり伝わるような技術を指導し、それが修得できているかを見る。	お互いの作品を見て感じたことを、言葉で表現できるかを見る。
評価方法	観察 提出作品 合評会 準備と片付け パネル表装作品	観察 提出作品 作品掲示 発表	観察 提出作品	観察 作品掲示

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	古典臨書	曹全碑 金文 甲骨文	○	○	○	○	a:筆がうまく使えているか b:デッサン力があるか c:筆脈の理解ができているか d:鑑賞力があるか	
	Tシャツ制作	Tシャツデザイン原稿制作 うちわ創作 展示	○	○	○	○	a: 筆がうまく使えているか b:創意工夫ができるか c:空間認識力があるか d:鑑賞力があるか	
	漢字かな交	漢字かな交り創作練習	○	○	○	○	a: 筆がうまく使えているか b:創意工夫ができるか c:空間認識力があるか d:鑑賞力があるか	
2～3学期	漢字かな交り創作	課題文章の作品創作	○	○	○	○	a: 筆がうまく使えているか b:創意工夫ができるか c:リズムをつかめているか d: 空間認識力があるか	
		自由課題文章の作品創作 裏打ち表装 展示	○	○	○	○	a: 筆がうまく使えているか b:創意工夫ができるか c:リズムをつかめているか d: 空間認識力があるか	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。